

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：2023年 1月 31日

事業所名：放課後等デイサービス かえる サービス種類：放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標内容
環境体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員10名だが、コロナ対策のため8名位の受け入れをしている。それでも、成長して大きくなってきて、活動も年齢差、個性によりスペースとして十分ではない。外出するなど、パーティションで仕切るなど工夫はしているが、不十分。	はい…6名 どちらともいえない…6名 いいえ…1名 わからない…3名 子どもが利用している様子を見ていないので、分かりません。参観できると見えてくる部分があると思います。	現在実施している工夫を継続していきながら、子どもたちが過ごしやすいスペースを確保できるように、可能なところから改善に努める。
	2 職員の適切な配置	利用人数や子ども一人ひとりの特性に応じた人数の職員を配置している。	はい…10名 どちらともいえない…2名 いいえ…0名 わからない…4名 子どもが利用している様子を見ていないので、分かりません。参観できると見えてくる部分があると思います。	今後も、よりよい支援に向けて、職員配置の工夫を行っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子ども一人ひとりに合わせた伝わりやすい関わり方を心がけている。また、クールダウンするためのスペースをその都度設置する工夫をしている。	はい…10名 どちらともいえない…2名 いいえ…0名 わからない…4名	現状維持を継続し、改善できるところから検討し実施していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	消毒、清掃を心がけ、活動に応じて机を出したり、片付けたりしている。また、カーテンやパーティションで仕切るなどして、更衣する場所、集中できる環境やゆっくり過ごせる環境を確保している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…4名	現状維持を継続しながら、更に工夫できるところから検討し、実施していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	支援会議、ミーティング、運営会議で行おうとしているが、全員の参加が難しい。口頭や会議録などで伝えていこうとしている。	/	現状の問題点を検討し、改善に努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		必要に応じて法人、事業所内で検討し、業務改善を行っていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	ケース会議を実施している。		必要に応じて、研修などの実施、参加に努める。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6ヶ月に1度、面談を行い、子どもと保護者のニーズの把握し、ニーズに適した個別支援計画書の作成を心がけている。	はい…16名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	現状維持を継続し、子どもたちや保護者のニーズに沿った最適な計画作成に努める。子どもたち一人ひとりの生活の質を高められるよう努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの特性や様子に合わせた個別支援計画書の作成を心がけている。		現状維持を継続し、よりよい計画の作成に努める。子どもたち一人ひとりの生活の質を高められるよう努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの特性や様子に合わせ、必要な支援項目を保護者と検討し、具体的な支援内容の記載を心がけている。	はい…16名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	現状維持を継続し、よりよい計画の作成に努める。子どもたち一人ひとりの生活の質を高められるよう努める。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の活動が充実に行え、今、何が必要なのか見極め支援するよう心がける。また、個別支援計画を支援員で情報共有し、適切な支援に反映させるように努めている。	はい…15名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…1名	現状維持を継続。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	支援会議、ミーティングなどで具体的プログラムについて、提案、検討している。チーム全体でとは言えない。		現状維持を継続しながら、チーム全体で活動プログラムが立案できるよう、よりよい方法を検討し、実施していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は、主に宿題にとりくむ、その後に、個々に合った活動と定着しがちになる。休日は、長期休暇時は、工場などの見学や、地域のイベント、公園などに出かけている。	はい…13名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…3名	現状維持を継続。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個々の様々な活動に合わせ、その時々で対応している。		子どもたちが楽しめるイベントを事業所全体で計画したり、外部のイベントに参加したり、活動をより充実させていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ミーティングにて、その日の支援内容や役割分担など確認の徹底を心がけている。非常勤職員に対しては、紙面と口頭などで、その日の内容を確認してもらうようにしている。		現状維持を継続し、更に工夫できるところを検討し、実施していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援記録に記入し、その日の支援の振り返りや気づいたことの情報共有に努めている。		子どもたちの様子や支援の振り返りなどの情報を、共有するためのよりよい方法を事業所全体で検討し、実施していく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証改善の継続実施	支援記録や連絡帳の記入を行っている。支援の検証、改善については、支援会議、ミーティング、運営会議等で行っている。		現状維持を継続。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月に一度、モニタリング、個別支援計画の見直しを行っている。		現状維持を継続。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者もしくは、常勤保育士が参加するようにしている。	現状維持を継続。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する利用者がいない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する利用者がいない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当する利用者がいない。		今後、該当する利用者が利用する場合は、関係機関との連携、情報共有に努める。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当する利用者がいない。		今後、該当する利用者が利用する場合は、関係機関との連携、情報共有に努める。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との連携は不十分。専門機関での研修の受講についても、コロナ禍により不十分である。		コロナ状況に応じて、研修への積極的な参加を促し、連携に繋げていく。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	そういった機会を提供はできていない。	はい…4名 どちらともいえない…1名 いいえ…3名 わからない…8名	今後、可能であれば参加、実施を検討。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域に開かれた事業の運営はできていない。		今後、可能であれば参加、実施を検討。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標内容
保護者への説明責任連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	毎日の送迎時、保護者から問い合わせがあった時など、丁寧に分かりやすい説明を心がけている。	はい…16名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	現状維持を継続。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を提示しながら支援内容を丁寧に説明するよう心がけている。	はい…16名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	現状維持を継続しながら、今後も保護者に対してより丁寧に伝わりやすい説明を心がける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者から相談等があった場合は、丁寧に話を聴き、対応を行っている。	はい…9名 どちらともいえない…2名 いいえ…0名 わからない…5名	現状維持を継続。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や面談時、子どもの様子について細かく伝えている。	はい…16名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	現状維持を継続しながら、今後も共通理解に努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から相談等があった場合、ゆつくり話を聴き、必要に応じて職員間でも話し合いを行い、丁寧な対応を心がけている。	はい…16名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	現状維持を継続し、今後も相談に対して、丁寧に適切な対応に努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、保護者会の開催はできていない。	はい…1名 どちらともいえない…1名 いいえ…11名 わからない…3名	保護者会や保護者交流会などの開催を検討。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情等があった場合、事業所及び法人で苦情内容、解決方法の検討を行い、迅速かつ適切な対応が行えるように、体制を整えている。	はい…14名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…2名	現状維持を継続しながら、迅速かつ丁寧な対応を心がける。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	各々の特性に合わせて、メール、電話、口頭で伝わりやすい方法に配慮している。	はい…16名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	現状維持を継続し、今後も適切な配慮に努める。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	「かえるだより」を作成、配布し、子ども達の活動、友だちとの関り等知らせている。月別の利用予定でイベント等のお知らせをしている。	はい…15名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…1名 かえるだよりで伝えて頂いています。	現状維持を継続。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	外には持ち出さない、事務所内では鍵つきロッカーに保管するように留意している。	はい…15名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…1名	全職員が個人情報の取り扱いについて意識し、細心の注意を払う。 個人情報の取り扱いが適切かどうか定期的に確認、検討を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時の利用者の保護者に説明している。また、必要に応じてのマニュアルの閲覧ができるようにしている。	はい…14名 どちらともいえない…1名 いいえ…0名 わからない…1名 コロナの陽性が出た場合の対応などの用紙を配って頂いたり、よく出来ていると思います。	必要に応じて、適宜各マニュアルの見直しを行う。 全職員、保護者への周知徹底を心がける。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練をしている。役割分担を決めて計画し、実施するようにし、振り返りを行っている。	はい…11名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…5名 子どもから今日は避難訓練をしたと教えてもらっています。 時々の利用のため、訓練が行われているか分かりません。	現状維持を継続。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	今年度は未だ研修の機会がないので、年度内には取り組みたい。		虐待防止を目的とした研修の実施を検討。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当者なしではあるが、万が一のことがあれば必要に応じて、丁寧に説明し理解を得ることが必要と考えている。		該当ケースがある場合は、丁寧かつ適切な対応に努める。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当者なしではあるが、もし今後、アレルギーのあることが判明した際には、適切に対応したい。		必要に応じて、医師の指示、指導を受ける。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	常に全職員で気づいた時に記録し、全職員で共有し検討できるよう、掲示板に用紙を用意している。		現状維持を継続し、全職員でヒヤリハットを共有できるよりよい方法を検討し、実施していく。